

単元の目標

関心・意欲・態度

・物語を読むことに興味を持ち中心となる人物の気持ちの変化を考えようとしている。

読むこと

・登場人物の性格や気持ちの変化について叙述を基に想像して読むことができる。
・物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。

書くこと

・中心となる人物の気持ちの変化について、本文中の叙述を基に感想を書くことができる。
・友達に紹介したいことをリーフレットに書くことができる。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・表現したり、理解したりするために必要な語句を増やすことができる。

既習内容

〈小学校4年「走れ」〉

・中心人物の気持ちが、どこでどのように変わったか、なぜ変わったのかを考えながら読む。

児童の実態

○読書に興味を持っている児童が約8割である。
△教師が与える課題は一生懸命やろうとするが、自ら課題を見付けることができる児童は約半数である。
△約3割の児童が、自分の思ったことや感じたことを互いに伝え合ったり、それを基に自分の考えを表現したりすることを苦手と感じている。

アクティブ・ラーニングの視点に立った単元構想

本単元では、場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の気持ちの変化を読み取る力の育成を目指す。また、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせていく。

児童の興味・関心を高め、主体的に物語を読むことができるように「物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう」という言語活動を位置付け、紹介したい物語を選択させる。共通教材「ごんぎつね」のリーフレット作りで、あらすじや登場人物の気持ちの変化のまとめ方を学び、習得したことを選択教材のリーフレット作りで活用させる。また、ペア学習やグループ学習を通して、考えを広げたり、深めたりできるようにする。

【主体的な学び】



□新美南吉の作品の中から紹介したい物語を選択し、その物語を友達に紹介するリーフレットを作成するという学習の見通しを持たせる。
□友達に紹介したいところが分かるようにリーフレットの項目を自分たちで考え、目的を持って主体的に物語を読むことができるようにする。

{第1・2時}

【対話的な学び】



□課題解決の段階では、ペアやグループ、全体での交流を行い、自分と友達との考え方や感じ方の違いに気付いたり、自分の考えを形成したりする活動を設定する。

{第3・4・5・9・10時}

【深い学び】






□共通教材で学んだことを選択教材で活用し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。
□できたことや分かったことなどの観点を明確にして振り返らせ、達成感を味わわせたり、次の学びの意欲につなげたりする。




{第6・7・8・11・12・13時}




学習計画

段階	言語活動	時	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す児童の姿
見通し	物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう。	1	<p>ごんぎつね 選択教材</p> <p>学習の見通しを持つことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の物語を想起し、心に残っていることについて発表し合う。 単元の学習の見通しを持つ。 学校図書館にリーフレットを展示することを知る。 「ごんぎつね」の読み聞かせを聞く。 「ごんぎつね」を読むときには、心に残ったところを付箋に書いて貼っておくことを知る。 新美南吉の作品紹介を聞き興味・関心を高める。 並行読書をする物語を選ぶ。 並行読書の進め方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習で読む。 ブックリストの題名と登場人物を書いておく。 心に残ったことをメモして付箋を貼っておく。 本時を振り返る。 	<p>学習の見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> □教師が作成したリーフレットのモデルを提示し、学習の見通しを持たせる。 □「ごんぎつね」以外の物語5つを提示し、並行読書をする物語を2つ以上を選択させる。 <p>参考作品</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おじいさんのランプ」 「花のき村の盗人たち」 「狐」 「木の祭り」 「牛をつないだ樁の木」 	<p>新美南吉さんは、たくさんの物語を書いたんですね。</p> <p>「ごんぎつね」のほかにも狐が出て来る物語があるよ。どんな物語か読んでみようかな。</p> <p>題名が気になったので、この物語を読んでみようと思います。</p> <p>リーフレットを作って、物語を友達に紹介してみたいです。</p>

段階	言語活動	時	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す児童の姿																		
見通し		2	<p>ごんぎつね</p> <p>物語を紹介するリーフレットの項目を考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 物語を紹介するために、どんな項目にすればよいかを話し合って決める。 学習計画を立てる。 リーフレットを作成することを考えながら「ごんぎつね」を通読する。 本時を振り返る。 	<p>主</p> <p>興味・関心を高め、見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> □物語を紹介するリーフレットの項目とその理由を個人で考えさせる。 □ペアやグループで意見を交流し、リーフレットのよりよい項目について話し合わせる。 □全体で考えを出し合い決定させる。 <p><例></p> <table border="1" data-bbox="934 816 1365 1053"> <tr> <td>あらすじ</td> <td>登場人物</td> <td>心に残ったところ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>手紙</td> <td></td> </tr> </table>	あらすじ	登場人物	心に残ったところ		手紙		<p>どんな物語が分かるようにあらすじを入れたら、読みたいと思うのではないかな。</p> <p>特に心に残った部分を紹介すれば、物語に興味を持ってもらえると思うね。</p> <p>みんなで考えを出して、話し合ったら、物語を紹介するためのリーフレットの項目を決めることができました。</p> <p>リーフレットで紹介する内容を考えながら読んでいこう。</p>												
あらすじ	登場人物	心に残ったところ																						
	手紙																							
課題解決	物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう。	3	<p>ごんぎつね</p> <p>あらすじを捉えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 「ごんぎつね」第1場面を音読する。 第1場面のあらすじをまとめる。(個人、ペア) 全体であらすじをまとめるときのポイント「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」を確認する。 グループで交流し、あらすじをまとめる。 各グループでまとめたあらすじを模造紙に書いて表に貼り、発表し合う。 「ごんぎつね」のあらすじを自分のリーフレットにまとめる。 あらすじのまとめ方について振り返る。 本時を振り返る。 	<p>対話</p> <p>互いの考えを伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> □担当する2つの場面のあらすじを個人で書いた後、グループで、それぞれが書いたものを読み合わせる。 □まとめ方の違う友達の説明を聞いたり、疑問に思うことを質問したりして、考えを伝え合わせる。 □重要な言葉や内容を話し合ったり、確認したりしながら、担当する場面のあらすじをまとめさせる。 	<p>「少しはなれた山の中にひとりぼっちの小ぎつねが住んでました。」というところは大切ですよ。</p> <p>友達と考えを出し合ったら、重要な言葉を見付けることができました。</p> <p>「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」に気を付けてまとめることが大切なんだね。</p> <p>みんなで考えを出し合ったら、場面ごとのあらすじを分かりやすくまとめることができました。</p>																		
課題解決		4	<p>ごんぎつね</p> <p>ごんや兵十の様子や行動、会話から気持ちの変化を読み取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 第1場面を音読する。 第1場面の叙述からごんと兵十の気持ちが分かるところにサイドラインを引く。 第1場面の気持ちが分かる行動や会話、様子などの叙述とそこから読み取った気持ちを短冊にまとめる。 グループで交流し、叙述から気持ちを読み取る。 各グループでまとめた叙述とその気持ちを短冊に書いて表に貼り、物語の中でどのように変化したかを捉える。 登場人物の気持ちの変化について自分のリーフレットにまとめる。 本時を振り返る。 	<p>対話</p> <p>互いの考えを伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> □グループで担当する場面を2つ決めさせる。 □登場人物の気持ちと根拠を個人でワークシートにまとめた後、グループ内で互いに伝え合わせる。 □「叙述」「叙述から分かる気持ち」を短冊にまとめさせる。 <table border="1" data-bbox="934 2329 1365 2715"> <tr> <td>二</td> <td>一</td> <td>ごん</td> </tr> <tr> <td>↑</td> <td>↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>↑</td> <td>↑</td> <td>兵十</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>叙述</td> <td>叙述から分かる気持ち</td> <td></td> </tr> </table>	二	一	ごん	↑	↑		↓	↓		↑	↑	兵十	↓	↓		叙述	叙述から分かる気持ち		<p>ごんが～したこと(行動)から兵十に気付いてほしいという気持ちが読み取れると思いました。</p> <p>私は、ごんの～という様子から償いの気持ちが読み取れると思いました。でも、〇〇さんの考えを聞いて、そういう気持ちも読み取ることができるなと思いました。</p> <p>いろいろな考えがあるんですね。感じ方も様々で、なるほどなと思いました。</p> <p>みんなと考えを交流して、軽い気持ちでいたごんが、自分のいたずらを後悔して償いをしようという気持ちに変わっていくことが分かりました。</p>
二	一	ごん																						
↑	↑																							
↓	↓																							
↑	↑	兵十																						
↓	↓																							
叙述	叙述から分かる気持ち																							

段階	言語活動	時	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す児童の姿																	
課題解決	物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう。	5	選択教材 自分が紹介したい物語を決めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 並行読書した2つ以上の物語について、ブックリスト(ワークシート)にまとめる。 ブックリストを基に、友達と「好きなところ」や「好きな表現」について交流する。 自分がリーフレットで紹介する物語を1つに決める。 本時を振り返る。 	<div style="text-align: center;">  <p>自分の考えを確かなものにする</p> <p>□ブックリスト(①題名②登場人物③主な出来事④好きなところ・好きな表現)をまとめた後、同じ物語を選んだ友達と④について交流させる。</p> <p>□友達の意見を参考に、自分が紹介したい物語を1つに決めさせる。</p> <table border="1" data-bbox="987 742 1281 1157"> <tr> <td></td> <td>木の祭り</td> <td>のおじいさん</td> <td>①題名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほたる</td> <td>東おじいさん</td> <td>②登場人物</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>③主な出来事</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>④好きなところ</td> </tr> </table> </div>		木の祭り	のおじいさん	①題名		ほたる	東おじいさん	②登場人物				③主な出来事				④好きなところ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○○を選びました。好きなところは～です。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 私も同じ物語を選びました。好きなところは△△にしましたが～もいいですね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 同じ物語を選んでいるのに、好きなところや好きな表現が違う友達がいました。なるほど、その表現もいいなあと思いました。物語を選ぶときの参考にしたいです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どちらの物語にしようか迷っていました。選んだ物語も好きなところも同じ友達がいて、うれしくなりました。この物語を紹介することに決めました。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○○を選びました。好きなところは～です。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 私も同じ物語を選びました。好きなところは△△にしましたが～もいいですね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 同じ物語を選んでいるのに、好きなところや好きな表現が違う友達がいました。なるほど、その表現もいいなあと思いました。物語を選ぶときの参考にしたいです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どちらの物語にしようか迷っていました。選んだ物語も好きなところも同じ友達がいて、うれしくなりました。この物語を紹介することに決めました。 </div>
			木の祭り	のおじいさん	①題名																		
			ほたる	東おじいさん	②登場人物																		
			③主な出来事																				
			④好きなところ																				
6	選択教材 あらすじを捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 第3時の「ごんぎつね」の学習を想起し、あらすじのポイントやまとめ方を確認する。 同じ物語を選んだ3～4人でグループを作り、あらすじをまとめる場面を分担する。 担当する場面のあらすじを1～2行の文章に、まとめる。 グループで交流し、あらすじをまとめる。 選択した物語のあらすじを自分のリーフレットにまとめる。 本時を振り返る。 	<div style="text-align: center;">  <p>身に付けた知識・技能を活用する</p> <p>□それぞれがまとめたあらすじをワークシートに貼り、全体像をつかませる。</p> <p>□あらすじをまとめるときのポイントを基に検討させる。</p> <p>□物語全体のあらすじをリーフレットにまとめさせる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「ごんぎつね」のあらすじをまとめたときのように、重要な言葉を考えました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 重要な言葉をつなぎ合わせていくと、あらすじを考えることができるね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 同じ物語を選んだ友達とあらすじを読み合って話し合いました。分かりやすくまとめることができました。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「ごんぎつね」のあらすじをまとめたときのように、重要な言葉を考えました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 重要な言葉をつなぎ合わせていくと、あらすじを考えることができるね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 同じ物語を選んだ友達とあらすじを読み合って話し合いました。分かりやすくまとめることができました。 </div>																		
7	選択教材 登場人物の様子や行動、会話から気持ちの変化を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 叙述から登場人物の気持ちが分かるところにサイドラインを引きながら、物語を読む。 場面ごとに登場人物の気持ちが分かる行動や会話、様子等の叙述とそこから読み取った気持ちをワークシートにまとめる。 登場人物の気持ちの変化について話し合う。 本時を振り返る。 	<div style="text-align: center;">  <p>身に付けた知識・技能を活用する</p> <p>□個人で登場人物の気持ちの変化について書いた後、同じ物語を選んだ友達とグループ(3～4人)になり、互いのワークシートを回して、読み合わせる。</p> <p>□友達の説明を聞いたり、疑問に思うことを質問したりして互いの考えを伝え合わせる。</p> <p>□場面ごとに登場人物の気持ちの変化をまとめ、その変化を捉えさせる。</p> <table border="1" data-bbox="945 2374 1323 2671"> <tr> <td>二</td> <td>一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>↑</td> <td>↓</td> <td>登場人物</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↑</td> <td>登場人物</td> </tr> </table> </div>	二	一		↑	↓	登場人物	↓	↑	登場人物	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○○の会話から○○という気持ちが読み取れると思います。理由は～だからです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 私も同じところを選びました。でも、理由は～だからと考えました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> なるほど。僕も理由が違います。理由は△△です。でも、友達の考えを聞いて、そういう考え方もあるなあと思いました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 同じ物語を選んだ友達と考えを交流したら、登場人物の気持ちがどのように変化したかをより詳しく読み取ることができました。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○○の会話から○○という気持ちが読み取れると思います。理由は～だからです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 私も同じところを選びました。でも、理由は～だからと考えました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> なるほど。僕も理由が違います。理由は△△です。でも、友達の考えを聞いて、そういう考え方もあるなあと思いました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 同じ物語を選んだ友達と考えを交流したら、登場人物の気持ちがどのように変化したかをより詳しく読み取ることができました。 </div>									
二	一																						
↑	↓	登場人物																					
↓	↑	登場人物																					

段階	言語活動	時	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す児童の姿
課題解決	物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう。	8	選択教材 登場人物の気持ちの変化をリーフレットにまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 登場人物の心情の変化を、リーフレットに書く。 同じ物語を選択した友達と書いた内容について感想を交流する。 交流後、リーフレットの登場人物を紹介する部分を完成させる。 本時を振り返る。 	 <p>身に付けた知識・技能を活用し、自分の考えを確かなものにする</p> <ul style="list-style-type: none"> □登場人物の気持ちの変化について書いた後、同じ物語を選んだ友達とグループになり、互いに書いたものを読み合わせる。 □リーフレットとノートを互いに交換し、文章表現でよかったところや分かりやすく説明されていたところなどの感想をノートに書いて、交流させる。 □交流させた後、自分のリーフレットを見直して加筆・修正させる。 	<p>登場人物の気持ちがだんだん変わっていったのがよく分かる書き方ですね。</p> <p>同じ物語を選んだ友達と意見交流したり、相談したりしたら、文章の書き方や内容について新しい発見ができました。</p> <p>「ごんぎつね」で学習したことや友達と交流したことを基に、登場人物の気持ちの変化を自分で工夫して書くことができました。</p>
		9	ごんぎつね 心に残ったところを選び、紹介する文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 「ごんぎつね」を読み、心に残ったところを選び、その理由を付箋に書く。 グループごとに、付箋をワークシートに貼り、交流する。 ほかのグループのワークシートを読み、心に残ったところについて交流する。 交流から参考になったことを基に、紹介したいところを決める。 「心に残ったところ」についてリーフレットに書く。 リーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 本時を振り返る。 	 <p>新しい考えやそれぞれのよさに気付く</p> <ul style="list-style-type: none"> □心に残ったところとその理由について個人が書いた付箋をグループ（座席順）ごとに、ワークシートに貼ってまとめさせる。 □付箋の内容を発表し合い、互いの考えの共通点や相違点について交流させる。 □グループごとに移動しながら、ほかのグループのワークシートを読み、感想を伝え合わせる。 	<p>友達の考えを聞いて、心に残ったところがいっぱいあることが分かりました。</p> <p>なるほど。〇〇のところもいいですね。同じ物語に対して、それぞれ感じ方や考え方が違うことが分かりました。</p> <p>みんなの心に残ったところも最後の場面だと思っていました。でも、違うところを選んだ友達の理由を聞いて、なるほど、そこもいいなと思いました。</p> <p>心に残ったところが同じでも自分が気付かなかった理由を書いている人がいました。読むと、なるほどそういう考えもあるなと思いました。その友達の考えを参考にして理由を書き加え、物語を紹介する文章を書くことができました。</p>
		10	ごんぎつね 物語を読んで感じたことや考えたことを登場人物への手紙としてまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 登場人物（ごんか兵十）のどちらかに宛てて手紙を書く。 手紙を友達と読み合い、感想を伝え合う。 交流した後、自分の書いたものを見直し、加筆・修正して、完成させる。 友達と再度読み合い、感想を伝え合う。 友達の手紙の発表を聞く。 本時を振り返る。 	 <p>互いの考えのよさを認め合い考えを広げたり、深めたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> □グループごとに、友達と互いに手紙を読み合い、感想を伝え合わせる。 □手紙の内容の共通点や相違点について意見を交流させる。 	<p>登場人物に呼び掛けるような書き方をしているわ。伝えたい気持ちが表れているなと思いました。</p> <p>私はごんに手紙を書いたのですが、同じようにごんに宛てた友達の手紙を読んだら、「ごんの気持ちは兵十に届いたと思うから安心してね。」と書いてあり、そういう気持ちも伝えるといいなあとと思いました。</p> <p>兵十に宛てた友達の手紙を読んだら、兵十の気持ちになってもう一度「ごんぎつね」を読みたいと思いました。</p>

段階	言語活動	時	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す児童の姿
課題解決	物語を友達に紹介するリーフレットを作ろう。	11	選択教材 心に残ったところを選び、紹介する文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 自分が選んだ物語について心に残ったところとその理由を付箋に書く。 同じ物語を選んだ友達と交流する。 参考になったことを基に、自分が紹介したいところを決める。 心に残ったところについてリーフレットに書く。 リーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 本時を振り返る。 	 <p>身に付けた知識・技能を活用し、新しい考えやそれぞれのよさに気付く</p> <ul style="list-style-type: none"> □それぞれが書いた付箋をワークシートに貼ってまとめさせる。 □付箋の内容を発表し合い、互いの考えの共通点や相違点について交流させる。 □参考になった友達の考えをノートに書かせる。 	<p>「ごんぎつね」の時と同じで、自分が選んだところ以外にも、心に残るところがいろいろあるのですね。</p> <p>友達と心に残ったところについて意見交流したら、紹介したいところが決まりました。</p> <p>一人では気付かなかったことが発見できて、さらに物語について知ることができました。</p> <p>友達と同じところを選んでいてうれしかったです。理由を聞いてそういう考え方も分かるなと思いました。理由に付け加えようと思います。</p>
		12	選択教材 物語を読んで感じたことや考えたことを登場人物への手紙としてまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 第10時の学習を想起し、手紙の書き方や内容についてポイントを確認する。 誰に宛てて手紙を書くかを決める。 手紙を書く。 同じ物語を選んだ友達とグループになり、交流する。 交流した後、自分の書いたものを見直し、加筆・修正する。 手紙をリーフレットの台紙に貼って完成させる。 本時を振り返る。 	 <p>身に付けた知識・技能を活用し、互いの考えのよさを認め合い、考えを広げたり深めたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> □友達と互いに手紙を読み合い、感想を伝え合わせる。 □手紙の内容の共通点や相違点について意見を交流させる。 	<p>「自分も同じ立場だったら」と、自分の思いや考えを具体的に書いている文章がよいと思いました。</p> <p>友達の書いた手紙を読んだら、もう一度登場人物のことを考えて物語を読みたいと思いました。</p> <p>自分の思いや考えを手紙に書くことができました。</p>
		13	リーフレット を読み合い、感想を伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を把握する。 友達と感想を交流する。 単元の学習を振り返る。 紹介された物語を読み、自分の感想を持つ。 図書館にリーフレットを置いて、全校の人にってもらうことを確認する。 本時を振り返る。 	 <p>学びの深まりを実感する</p> <ul style="list-style-type: none"> □リーフレットを読み合って、付箋に感想を書かせる。 □1回目は、同じ物語を選んだ友達と交流し、2回目は、違う物語を選んだ友達と交流させる。 	<p>友達と交流して、一人一人の感じ方や考え方が分かるようになりました。</p> <p>みんなのリーフレットを読み、もっといろいろな物語を読みたいと思いました。</p> <p>自分の思いをリーフレットで紹介することができました。友達から感想を書いてもらってうれしかったです。</p> <p>ほかの物語でも、登場人物の気持ちの変化に気を付けて読みたいと思いました。</p>
振り返り						